

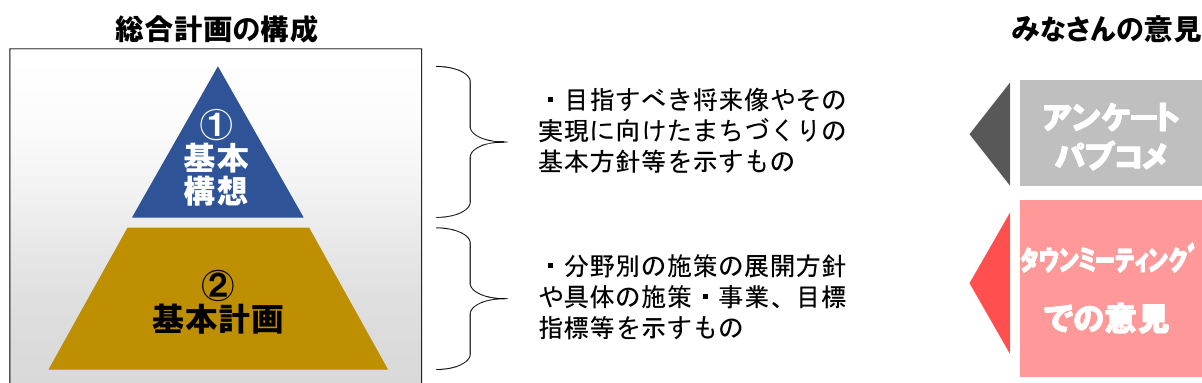
## 第2次宝達志水町総合計画

# 基本構想(案)について



### まちの10年後を見据えたまちづくり計画

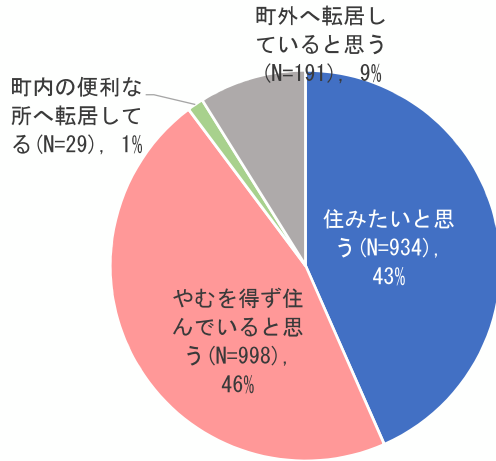
- 町では“まちの10年後を見据えたまちづくり計画”を進めています。（昨年度より、第2次宝達志水町総合計画の策定を実施中）
- 現在、まちのこれからの方向性を示した「基本構想(案)」を作成したところであり、今後、具体的な方法について検討する予定です。
- まちのこれからのに向けた課題や方針、対応策などについて、みなさんのご意見をよろしくお願いたします！



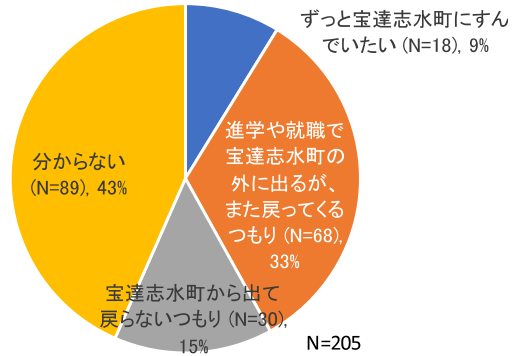
# アンケート結果：今後も住み続けたいか

『住んでいたい、戻りたい』と考えている町民が **4～5割程度** です。

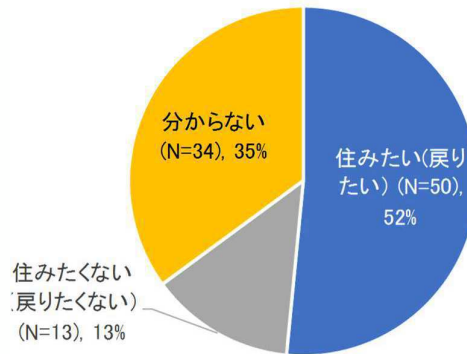
【町民アンケート（15歳以上）】



【中学生アンケート】



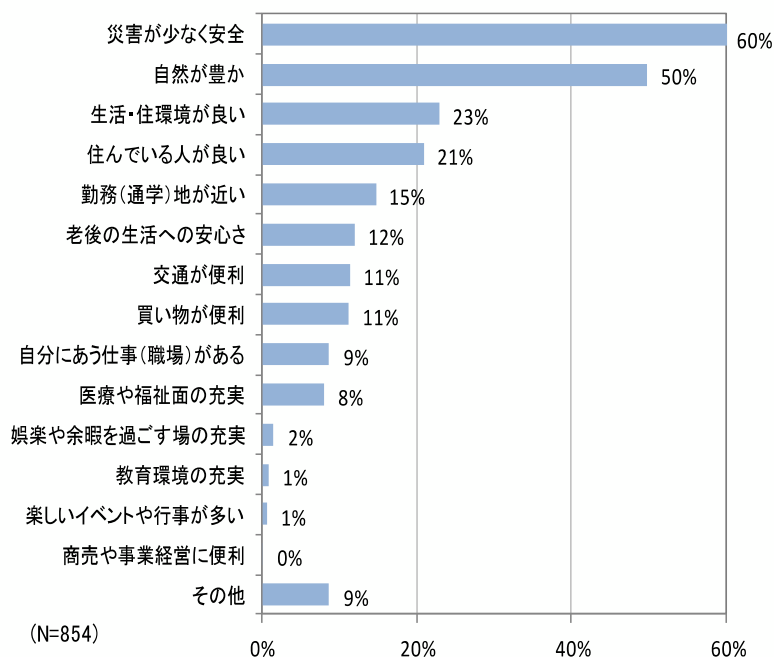
【新成人アンケート】



# アンケート結果：住んでいてよいところ

今後住みたい理由としては、総計では、『災害が少なく安全』や『自然が豊か』が多くなっています。

【町民アンケート（15歳以上）】



10～30 歳代

1位	自然が豊か	47%
2位	災害が少ない	35%
3位	勤務地に近い	28%

40～50 歳代

1位	自然が豊か	48%
2位	災害が少ない	47%
3位	勤務地に近い	33%

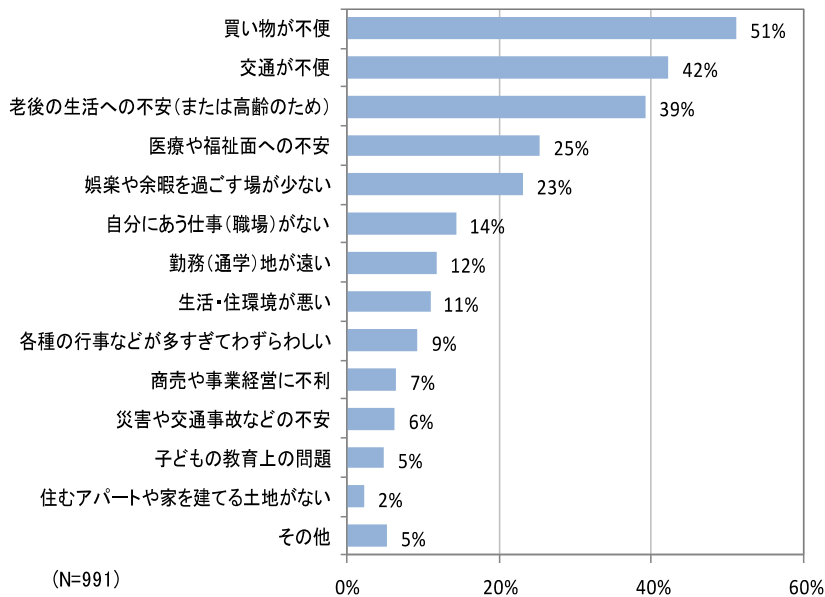
60 歳以上

1位	災害が少ない	68%
2位	自然が豊か	51%
3位	生活・住環境が良い	24%

## アンケート結果：住んでいて不満なところ

今後、宝達志水町に住みたくない理由として、総計では、『買い物が不便』や『交通が不便』、『老後の生活への不安（または高齢のため）』が多くなっています。

【町民アンケート（15歳以上）】



10～30 歳代

1位	買い物が不便	41%
2位	自分にあう仕事がない	36%
3位	勤務地が遠い	36%

40～50 歳代

1位	買い物が不便	48%
2位	交通が不便	39%
3位	老後の生活への不安	29%

60 歳以上

1位	買い物が不便	56%
2位	老後の生活への不安	51%
3位	交通が不便	49%

## アンケート結果：まちの誇りや魅力

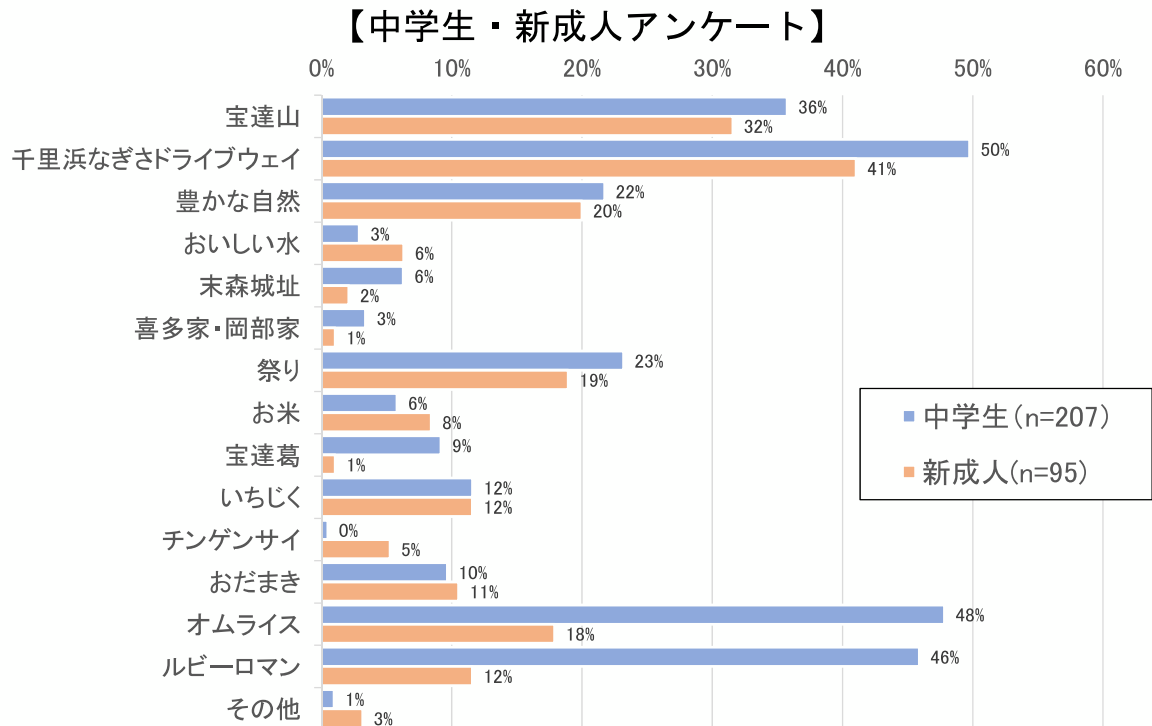
町民アンケートでは『海や山などの自然が豊かである』が最も多くなりました。

【町民アンケート（15歳以上）】

No	選択肢	構成比	回答数
(1)	隣近所の思いやりや助けあいの心が息づいている	23%	459
(2)	住民の交流が活発であり、生き生きと暮らせる	2%	45
(3)	海や山などの自然が豊かである	74%	1,463
(4)	美味しい食べ物がたくさんある	19%	379
(5)	居住環境が整い、安心・快適に暮らせる	10%	207
(6)	空間的・時間的に余裕のある、静かなたたずまいがある	24%	477
(7)	事故や犯罪のない安全・安心な生活が送れる	23%	457
(8)	高齢者や障がい者(児)をはじめ、誰にも優しく、健康でいきがいをもって暮らせる	3%	62
(9)	住む人たちが個性に富み、教養も豊かである	1%	21
(10)	祭りや民俗芸能など、歴史と文化を大切に育む気風に富んでいる	11%	222
(11)	活力と創造性ある産業が育っている	0%	3
(12)	金沢や七尾、高岡方面などへのアクセスが良好である	27%	534
(13)	その他	4%	70
	無回答	-	305
	計	223%	4,704

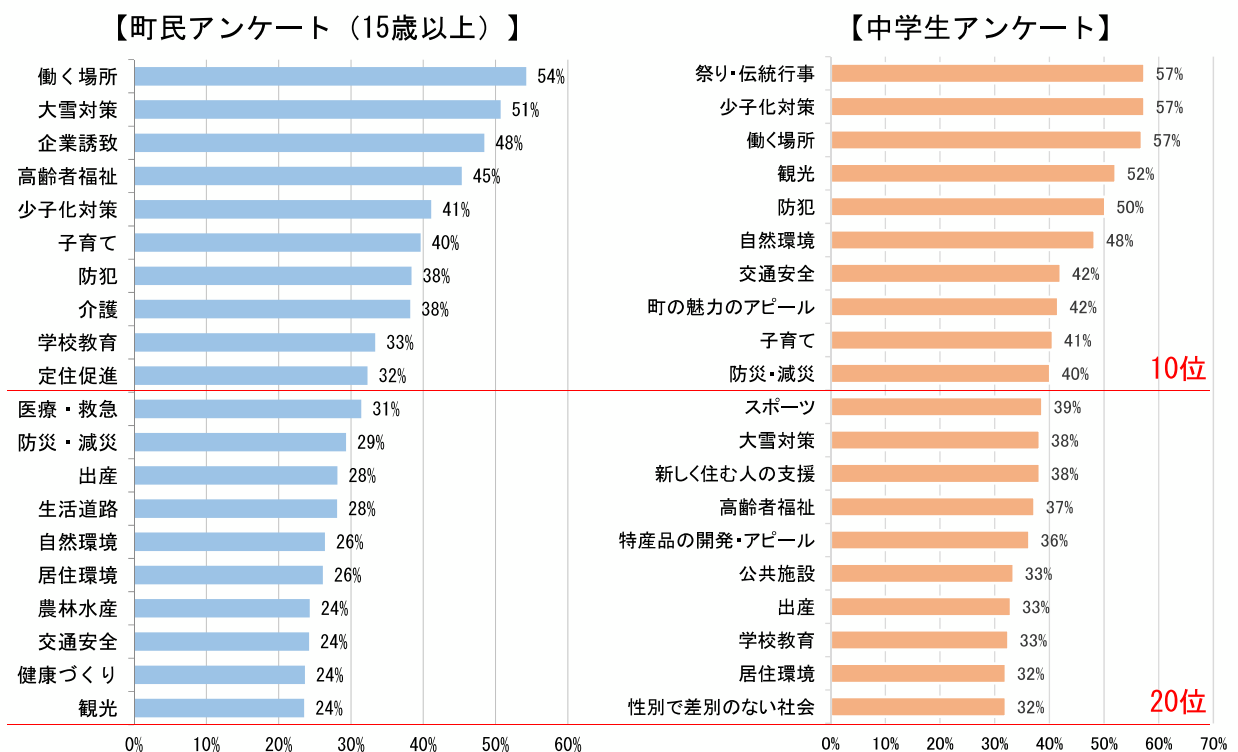
## アンケート結果：まちの誇りや魅力

中学生・新成人アンケートではより具体的な設問で確認しており、中学生は『なぎさドライブウェイ、オムライス、ルビーロマン』が多く、新成人は『なぎさドライブウェイ、宝達山』が多くなっています。



## アンケート結果：まちに重要だと思うキーワード

町民アンケートでは『仕事・生活』に関する項目が多く、中学生アンケートでは『祭り・観光』といった項目が見られます。



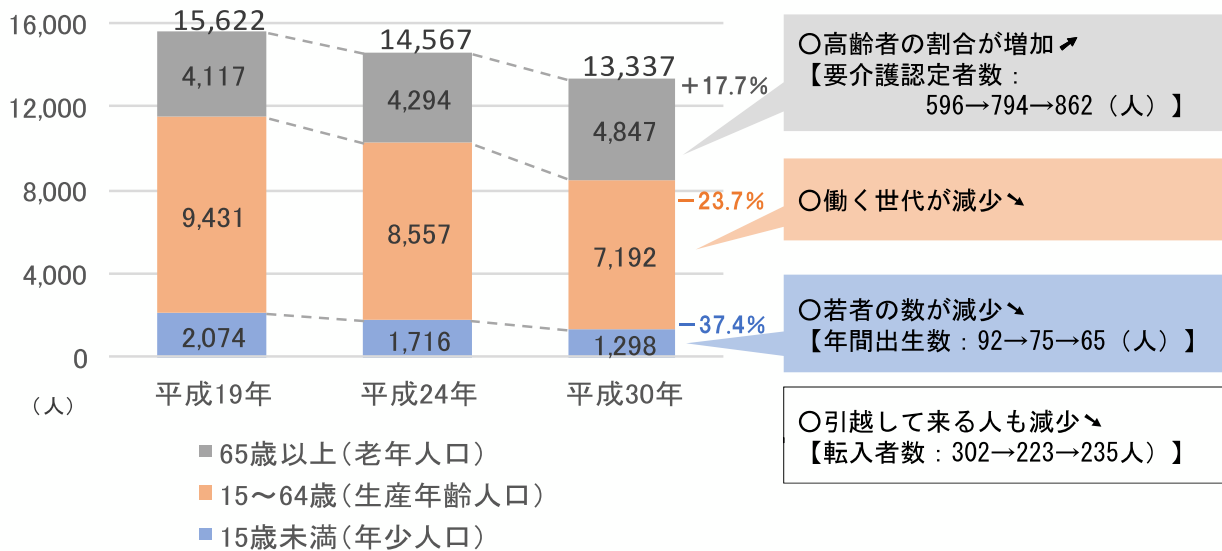
※55項目中、上位20個を抜粋

## (1) 本町の現状と課題

### ① 宝達志水町のこれまでの10年

第一次宝達志水町総合計画を策定された平成19年、約10年後の平成30年とその概ね中間である平成24年に公表された統計データを比較しました。

#### 〔まちの人口〕



#### 〔まちの活力〕

##### ○工業は増加傾向↗

【製造品出荷額等（億円）】  
989 → 685 → 1,400

出典：工業統計

##### ○商店数が大きく減少↘

【商店数（戸）】  
157 → 137 → 95

出典：商業統計

##### ○農家数が大きく減少↘

【販売農家数（戸）】  
766 → 560 → 425

出典：農林業センサス

##### ○千里浜の観光客数は増加傾向↗

【千里浜の入込客数（千人）】  
448 → 900 → 755

出典：石川県資料

##### ○財政状況は改善傾向↗

【将来負担比率（%）】  
293.6 → 170.9 → 60.9※

※県内市町の平均値程度まで改善

出典：総務省資料

##### ○町政に関心がある町民の割合は横ばい傾向→

【町政に関心があるか（%）】  
68 → — → 66

出典：町民アンケート

#### 〔まちでの暮らし〕

##### ○町道の延長は増加↗

【町道延長（km）】  
251.9 → 256.6 → 257.3

出典：道路現況調査

##### ○文教施設が減少↘

【公民館・図書館】  
5 → 5 → 2

【主な運動施設】  
23 → 18 → 13

出典：生涯学習課資料

##### ○健康意識が改善↗

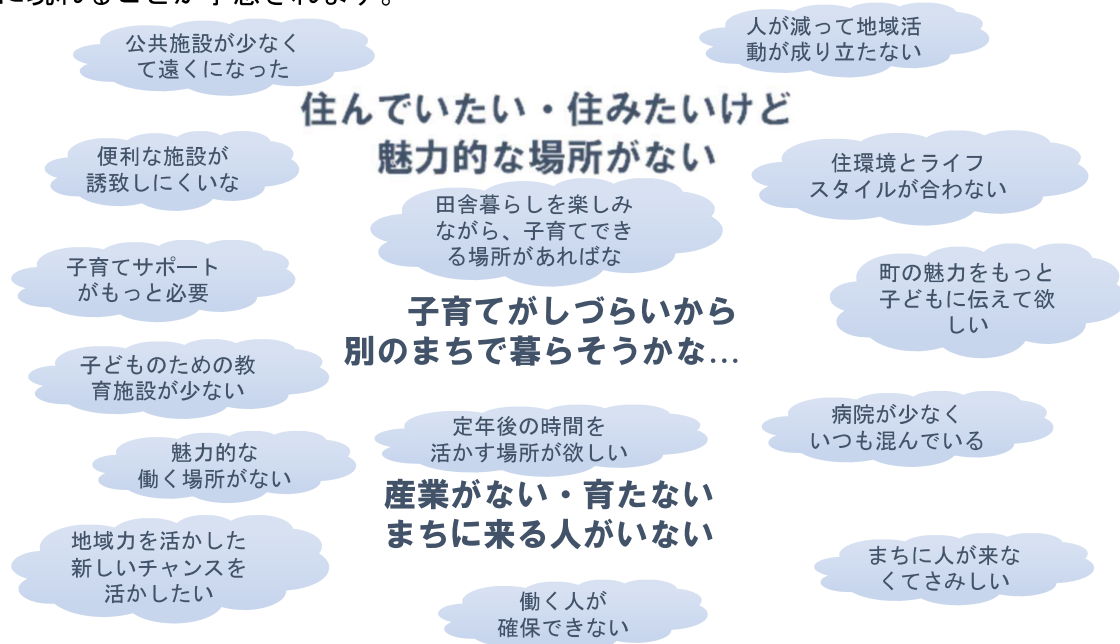
【特定健康診査の受診率（%）】

31.9 → 53.7 → 59.2

出典：健康づくり推進室資料

## ②宝達志水町のこれからの10年

現状のまま次の10年、20年先を迎えると、例えば、次のような事象が町民の生活に現れることが予想されます。



この危機的な状況を脱するためにはまず、町民と行政が一丸となって、若者や子育て世代が魅力を実感できるまちを目指す必要があります。

## (2) まちづくりのテーマ

# 『育てよ！町の宝』 ～未来を担う若者が育ち、みんなが誇れるまちづくり～

### 1. 町の宝を育てる

町の将来を担う子どもや若者が育つには、「この町で育った」という確かなアイデンティティの認識が重要です。町の素晴らしさ、人の輪の大切さを感じながら成長していける町を目指します。また、そのために現役、高齢者世代を含め全ての町民が健康で生きがいを持ち「人生を楽しみながら」過ごし、学び、働き続けられる環境整備に努めます。

### 2. 町の良さを伸ばす

多くの方が豊かで安全な自然、ゆとりある生活環境、町民の支え合いに町の良さを感じています。また、祭りや民俗、産物や食べ物など、町の個性がしっかりと息づいています。

一方で、買い物や交通の不便さ、老後の生活・健康・福祉への不安、娯楽や余暇を過ごす場が少ないといった不満の声あります。

良さを伸ばしつつ不安や不満の解消に努め、町民が満足できる町づくりに積極的に取り組みます。

### 3. 町の礎を次代につなげる

生活や社会制度、国際化、技術革新など、時代の目まぐるしい変化に即応し、定住条件の強化や産業振興、地域の魅力向上につながる各種計画策定や制度構築に取り組みます。

また、自然災害や大規模な事故、健康被害をもたらす事態のほか犯罪、人権侵害など、様々な危機に対する的確な対応を図り、安全な町づくりに努めます。

### 町の宝を育てる

#### 1 誇り高き若者を育てる

- 1 学校教育の充実
- 2 子育てサポートの充実
- 3 青少年の健全育成

#### 2 未来の為に学び、楽しむ

- 1 地域全体での特色ある教育
- 2 歴史・文化遺産の継承
- 3 生涯学習の充実
- 4 生涯スポーツの推進
- 5 町内外の交流の促進

#### 3 全員参加のまちづくり

- 1 自助・共助・公助の連携
- 2 男女共同参画社会の確立
- 3 国際交流・多文化理解の推進

### 町の良さを伸ばす

#### 4 住み続けられるまちづくり

- 1 定住の促進
- 2 良質な生活基盤の充実
- 3 環境への取組み
- 4 交通ネットワークの利便性向上
- 5 戦略的な土地利用の推進
- 6 情報・通信基盤の整備

#### 5 誰一人取り残さない社会福祉

- 1 健康づくりの推進
- 2 医療体制の充実
- 3 高齢者福祉の充実
- 4 障害者（児）福祉の充実

### 町の礎を次代につなげる

#### 6 産業の可能性を芽吹かせ育てる

- 1 農林水産業の振興
- 2 商業の振興
- 3 工業の振興
- 4 観光の振興

#### 7 命を守りやすらぎあるまちづくり

- 1 防災・消防減災体制の充実
- 2 防犯・交通安全対策の充実

#### 8 持続可能な行政経営の実現

- 1 持続可能な行政運営の推進
- 2 財政健全化の推進
- 3 公営企業の経営健全化

## 3. 主要指標の見通し

## 基本構想

### (1) 総人口・世帯数

宝達志水町人口ビジョンでは、長期的な人口減少の影響を見据えながらも、人口減少は不可避であることを受け止め、バランスの取れた年代別人口の確保を図り、2040年の時点では約9,800人を維持することを目指しています。

本計画においても、2029年度に国勢調査の人口を基準に概ね11,000人の確保を目指しています（人）

